

高藪発電所における発電量の増加について

当社は、愛媛県および高知県に11ヶ所、合計認可出力81,310kWの水力発電所を有しておりますが、東日本大震災による電力需給逼迫を受け、国はクリーンなエネルギーの増量を目的に水力発電に係る規制緩和など、多様な電源の活用を進める中、この度、国土交通省、経済産業省および関係各所のご協力のもと、高藪発電所において、豊水時に発電設備の余力を活かし、発電量の増加を図ることと致しました。

水力発電は、国産資源としてのエネルギー安全保障上の価値や、稼働率が高いという安定供給上の価値、さらに地球にやさしいクリーンエネルギーとしての多様な価値を有しており、当社は、こうした取り組みを通じて、引き続き地球環境の保全および地域への貢献などの役割を果たしてまいります。

【概要】

1. 水力発電所

(1) 高藪発電所

立地点	高知県土佐郡大川村
	(変更前) (変更後)
発電出力	14,300kW → 15,600kW (+1,300kW)
操業開始	1930年10月

2. 運用開始

2018年4月

3. 発電量の増加およびCO2削減効果

発電量増加	+1,428,000kWh/年 (計画値)
CO2削減効果	785 t/年 (計画値)

以 上